

### 1. アンケート実施要領

#### 〈アンケート目的〉

「高齢者にとって、鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域」のうち、若宮・大和町エリア（下図参照）を対象に、普段の外出時の移動状況及び新たな公共交通サービスの利用意向を把握するため、アンケート調査を実施した。

#### 〈アンケート対象〉

野方5丁目・大和町1～4丁目・若宮1～3丁目・白鷺1丁目にお住まいの方（下図の黒色点線の枠内）

#### 〈実施期間〉

令和3年（2021年）7月6日（火）～7月20日（火）

#### 〈配付・回収状況〉

	封書	票	備考
配付	2,000	4,000	1封書あたり2票封入
有効	1,987	3,974	
無効	13	26	宛先不明、転居
回収	504	715	平均 1.4 票/通
有効	503	714	
無効	1	1	全く記入なし
回収率(有効票)	25.3%	-	封書/封書
回収率(有効票)	-	35.9%	票/封書

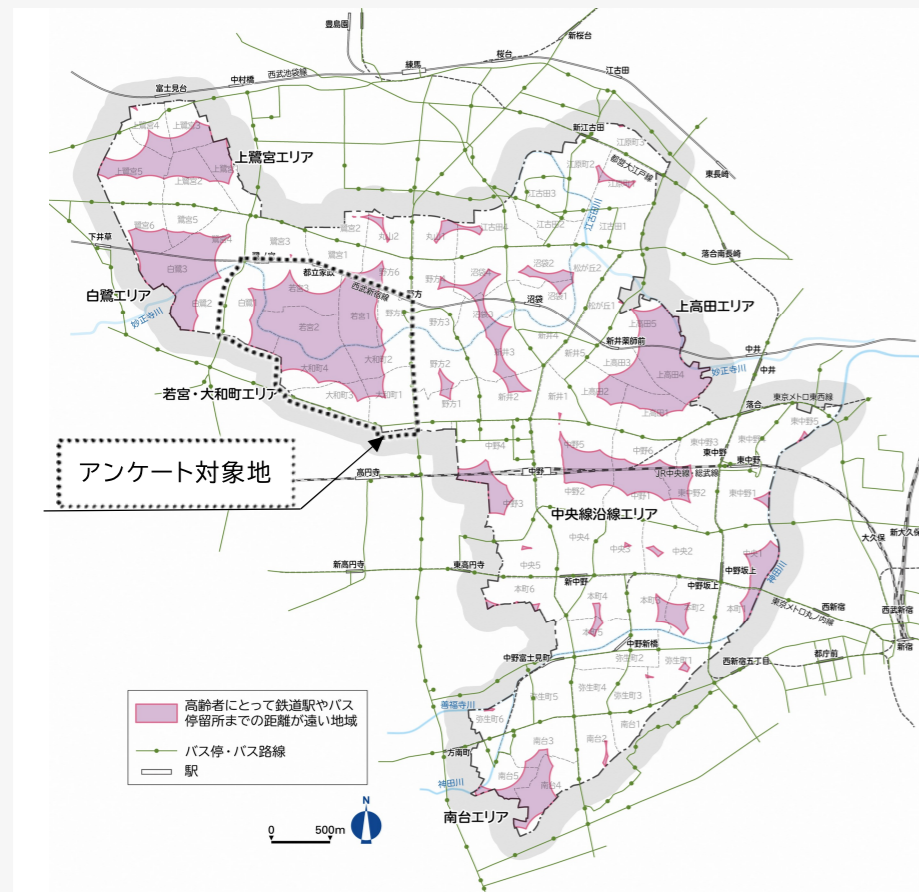


図 高齢者にとって、鉄道駅やバス停留所までの距離が遠い地域

### 2. 回答者の属性

#### 〈住所〉

(N=714)	実数	割合
野方5丁目	43	6.0%
大和町1丁目	106	14.8%
大和町2丁目	44	6.2%
大和町3丁目	83	11.6%
大和町4丁目	78	10.9%
若宮1丁目	79	11.1%
若宮2丁目	85	11.9%
若宮3丁目	107	15.0%
白鷺1丁目	89	12.5%

#### 〈年齢〉

(N=714)	実数	割合
18～29歳	61	8.5%
30～39歳	90	12.6%
40～49歳	126	17.6%
50～59歳	108	15.1%
60～69歳	98	13.7%
70～79歳	140	19.6%
80歳以上	91	12.7%

#### 〈自動車の運転免許証〉

(N=714)	実数	割合
所持している	428	59.9%
所持しているが、自主返納を考えている	16	2.2%
すでに自主返納した	48	6.7%
所持していない(免許更新せず失効した方も含む)	220	30.8%

#### 〈新型コロナウイルス感染症流行による公共交通の利用頻度の変化〉

(N=714)	実数	割合
公共交通の利用頻度が減った	376	52.7%
公共交通の利用頻度はあまり変わらない	330	46.2%

#### 〈外出の際に身体的に困難なこと〉

(N=714)	実数	割合
困難なことはない	591	82.8%
多少困難はあるが、一人で外出できる	99	13.9%
一部で介助が必要(公共交通を利用する際など)	5	0.7%
常に介助が必要(介助者の同行が常にあれば外出できる)	11	1.5%
ほか	6	0.8%

#### 〈職業〉

(N=714)	実数	割合
会社員、公務員	287	40.2%
自営業	69	9.7%
学生	9	1.3%
専業主婦(夫)	82	11.5%
パート、アルバイト	78	10.9%
無職	176	24.6%
ほか	11	1.5%

#### 〈世帯構成〉

(N=714)	実数	割合
一世代(一人暮らし)	192	26.9%
一世代(二人暮らし)	230	32.2%
二世帯(親と子など)	260	36.4%
三世帯(親と子と孫)	27	3.8%
ほか	4	0.6%

### 3. 普段の外出時の移動状況

#### 〈普段の外出における自宅近くの交通に関する困りごと・問題点〉

「とくになし」48.3%が最も多く、次いで「駅やバス停が遠い」26.3%、「タクシーが利用しづらい」20.3%と続く。

(N=714) (MA)	実数	割合
とくになし	345	48.3%
駅やバス停が遠い	188	26.3%
タクシーが利用しづらい	145	20.3%
公共施設までの便が悪い	86	12.0%
買い物までの便が悪い	85	11.9%
駅やバス停までに急坂がある	53	7.4%
ほか	49	6.9%
通勤・通学が不便	40	5.6%

#### 〈町丁目別内訳〉

「駅やバス停が遠い」では、大和町4丁目及び若宮2丁目5割以上、「タクシーが利用しづらい」では、大和町2丁目、白鷺1丁目及び若宮地区が2割以上を占める。

住所	問題点	駅やバス停が遠い	駅やバス停までに急坂がある	タクシーが利用しづらい	通勤・通学が不便	買い物までの便が悪い	公共施設までの便が悪い	とくになし
野方5丁目	0.0%	0.0%	11.6%	0.0%	7.0%	4.7%	83.7%	
大和町1丁目	19.8%	1.9%	8.5%	5.7%	12.3%	13.2%	64.2%	
大和町2丁目	31.8%	11.4%	25.0%	11.4%	27.3%	11.4%	40.9%	
大和町3丁目	20.5%	0.0%	12.0%	3.6%	15.7%	6.0%	53.0%	
大和町4丁目	60.3%	9.0%	19.2%	10.3%	16.7%	15.4%	26.9%	
若宮1丁目	19.0%	3.8%	21.5%	2.5%	2.5%	2.5%	49.4%	
若宮2丁目	52.9%	21.2%	25.9%	7.1%	8.2%	23.5%	32.9%	
若宮3丁目	13.1%	3.7%	34.6%	2.8%	7.5%	14.0%	49.5%	
白鷺1丁目	16.9%	15.7%	21.3%	7.9%	15.7%	12.4%	42.7%	



図 交通に関する困りごと・問題点の分布(概略)

### 3. 普段の外出時の移動状況

#### 〈利用目的別目的地・交通手段・頻度〉

**通勤・通学** 目的地では「上記以外の都内」が約5割を占め、「鉄道、自転車」の利用が多く、頻度は高い。

**買い物** 目的地では「杉並区、都立家政駅周辺、野方駅周辺」の割合が高く、「徒歩のみ、自転車」の利用が多く、頻度は「週に半分程度」の割合が高い。

**公共施設の利用** 目的地では「中野駅周辺、野方駅周辺、鷺ノ宮駅周辺」の割合が高く、「徒歩のみ、自転車」の利用が多いほか、「路線バス」の利用割合が通勤・通学や買い物と比べ高い。頻度は「月に数回以下等」低い傾向がある。

		通勤・通学 (N=417)	買い物 (N=662)	公共施設 の利用 (N=472)	自由記入計 (N=196)	合計 (N=1,747)
目的地	(SA) 中野駅周辺	6.2%	5.4%	41.7%	15.3%	16.5%
	野方駅周辺	3.1%	14.5%	15.3%	5.6%	11.0%
	都立家政駅周辺	1.0%	14.7%	3.0%	4.6%	7.1%
	鷺ノ宮駅周辺	3.1%	5.7%	13.1%	7.7%	7.3%
	大和町1～4丁目	0.7%	3.3%	3.2%	5.1%	2.9%
	若宮1～3丁目(駅周辺を除く)	0.7%	7.7%	2.3%	1.0%	3.8%
	白鷺1丁目(駅周辺を除く)	0.0%	1.2%	1.1%	0.5%	0.8%
	上記以外の中野区内	7.9%	3.3%	4.7%	9.2%	5.4%
	新宿区	12.5%	3.9%	1.1%	9.7%	5.8%
	杉並区	10.3%	30.8%	6.1%	21.9%	18.3%
	練馬区	2.2%	1.4%	1.1%	1.5%	1.5%
	上記以外の都内	46.8%	5.6%	3.4%	15.8%	16.0%
	都外	4.1%	0.2%	0.2%	1.5%	1.3%
	交通手段	(MA4) 野方駅	20.1%	7.9%	6.1%	10.7%
都立家政駅		17.0%	8.9%	6.4%	10.2%	10.3%
鉄道		15.8%	7.6%	4.7%	13.3%	9.4%
利用する駅		11.5%	9.2%	12.7%	8.7%	10.6%
富士見台駅		0.7%	0.3%	0.8%	1.0%	0.6%
高円寺駅		39.1%	15.6%	11.2%	15.8%	20.0%
阿佐ヶ谷駅		8.4%	6.8%	3.4%	8.7%	6.5%
鉄道計		112.7%	56.2%	45.3%	68.4%	68.1%
路線バス		7.0%	6.0%	8.5%	11.7%	7.6%
利用するバス停		8.4%	4.4%	6.8%	7.7%	6.4%
早稲田通り沿い	7.9%	8.0%	13.1%	12.8%	9.9%	
中杉通り沿い	6.5%	6.5%	5.7%	12.2%	6.9%	
路線バス計	29.7%	24.9%	34.1%	44.4%	30.7%	
そのほか	自家用車	6.0%	11.5%	8.7%	13.3%	9.6%
	バイク	0.7%	0.5%	1.1%	1.5%	0.8%
	自転車	27.1%	41.8%	40.5%	36.2%	37.3%
	タクシー	3.4%	3.0%	3.6%	11.7%	4.2%
	福祉タクシー	0.0%	0.2%	0.2%	0.5%	0.2%
	徒歩のみ	14.9%	51.4%	40.5%	23.5%	36.6%
頻度	(SA) ほぼ毎日	56.1%	19.8%	2.5%	5.1%	22.2%
	週に半分程度	23.7%	35.2%	5.5%	8.2%	21.4%
	週に1回程度	7.0%	23.4%	16.3%	16.8%	16.8%
	月に数回以下	3.4%	5.9%	18.6%	26.0%	11.0%
	月に1回程度	1.4%	1.7%	12.3%	21.4%	6.7%
年に数回	2.2%	0.2%	25.6%	5.6%	8.1%	

### 4. 新たな公共交通サービスの利用意向

#### 〈利用意向〉

	実数	割合
(N=714) 利用する	306	42.9%
将来必要になったら利用したい	236	33.1%
利用しない	162	22.7%
ほか	6	0.8%

#### 〈利用する場所(平日)〉

利用する場所では、「野方駅周辺、早稲田通りのバス停、マルエツ中野若宮店周辺、鷺ノ宮駅、都立家政駅」の順に割合が高い。

	実数	割合
(N=488) (MA) 野方駅バス停	75	15.4%
環七のバス停	65	13.3%
早稲田通りのバス停	104	21.3%
中杉通りのバス停	49	10.0%
野方駅	70	14.3%
都立家政駅	85	17.4%
鷺ノ宮駅	88	18.0%
大和区民活動センター	56	11.5%
野方区民活動センター	16	3.3%
白鷺高齢者会館	6	1.2%
若宮高齢者会館	12	2.5%
鷺宮区民活動センター集会所分室	19	3.9%
マルエツ中野若宮店周辺	103	21.1%
鷺宮高校周辺	10	2.0%
ほか	35	7.2%

町丁目別(右図)では、居住地から近い駅やバス停への利用意向が高い傾向にあるが、駅やバス停から遠い場所においても、駅やバス停の利用意向が見られる。

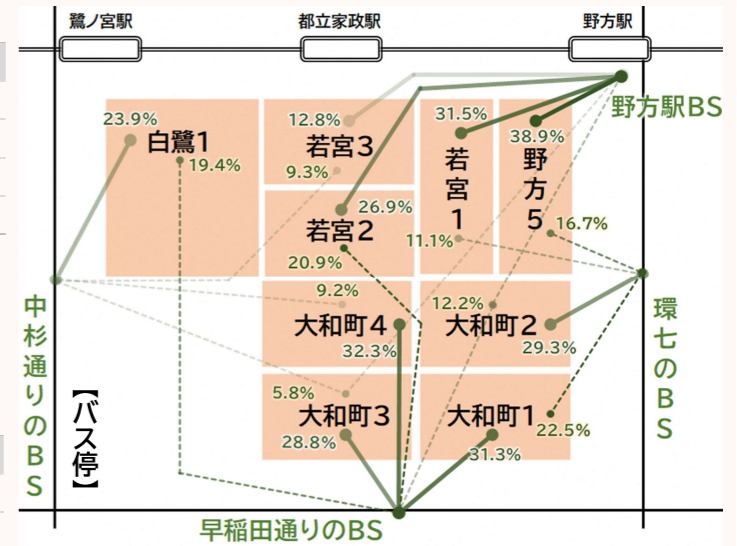


図 町丁目別利用するバス停(概略)

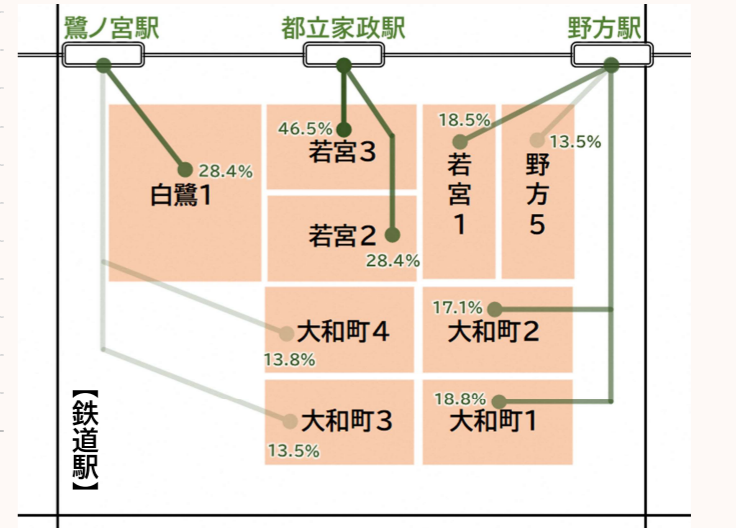


図 町丁目別利用する鉄道駅(概略)

#### 〈運行間隔〉

	実数	割合
(N=548) 1時間に1便	23	4.2%
30分に1便	157	28.6%
20分に1便	291	53.1%
ほか	61	11.1%

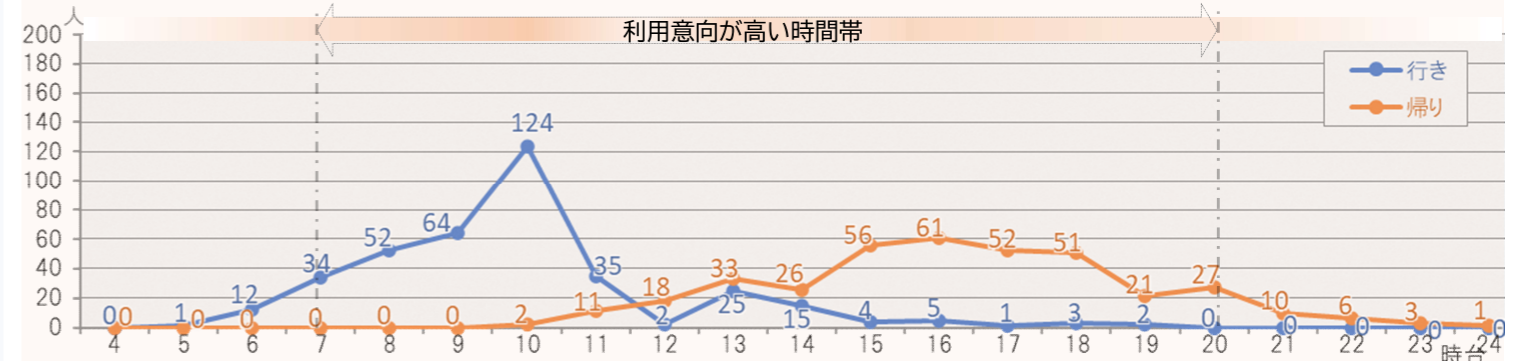
#### 〈停留所までの徒歩時間〉

	実数	割合
(N=548) 3分以内	143	26.1%
5分以内	282	51.5%
10分以内	92	16.8%
15分以内	19	3.5%
わからない	3	0.5%
ほか	0	0.0%

#### 〈1回の料金の限度額〉

	実数	割合
(N=548) 300円	12	2.2%
250円	13	2.4%
200円	262	47.8%
150円	53	9.7%
100円	189	34.5%
ほか	12	2.2%

#### 〈利用時間帯(平日)〉



## 4. 新たな公共交通サービスの利用意向

### 〈期待する効果〉

新たな公共交通サービスに期待する効果は、「移動が便利になり住みやすさが向上する」の60.6%が最も多く、「買い物などで外出の機会が増える」の48.5%が続く。また、「利用しない」と回答した方においても、上述の効果を期待されている(41.4%)。

(N=714) (MA)	実数	割合
移動が便利になり住みやすさが向上する	433	60.6%
買い物などで外出の機会が増える	346	48.5%
地域がにぎわい、まちが活性化する	205	28.7%
身体を動かす機会が増える	151	21.1%
家族やタクシーによる送迎の頻度が減る	135	18.9%
一般車から新たな公共交通サービスへの転換でCO2削減に寄与する	118	16.5%
運転免許証の返納がしやすくなる	111	15.5%
人と接する機会や新たな出会いが増える	104	14.6%
車両が地域のシンボルとなる	75	10.5%
地域のイベントに参加しやすくなる	62	8.7%
働く機会が増える	47	6.6%
ほか	10	1.4%
とくになし	66	9.2%

### 〈運行するにあたって工夫すべきこと〉

新たな公共交通サービスを運行するにあたって工夫すべきことは、「交通系ICカードの利用」が7割以上、「停留所環境の充実」や「運行の周知、説明会などの開催」が4割以上を占める。

(N=548) (MA)	実数	割合
交通系ICカードの利用	385	70.3%
停留所環境の充実	286	52.2%
運行の周知、説明会などの開催	234	42.7%
車両や停留所のデザインの工夫	88	16.1%
車内での地域情報の発信	50	9.1%
地元で運営協議会を設置し地域が主体的に運営	36	6.6%
地域イベント(試乗会、絵画コンテスト)の実施	23	4.2%
ほか	27	4.9%

### 〈新たな公共交通サービスを利用しない理由〉

新たな公共交通サービスを利用しない理由は、「徒歩または自転車で移動できるから」、「既存の鉄道や路線バスなどを利用できるから」の回答が多く、「ほか」の主な内容は、普段の移動範囲外や身体的理由等がある。

(N=162) (MA)	実数	割合
徒歩または自転車で移動できるから	114	70.4%
既存の鉄道や路線バスなどを利用できるから	85	52.5%
自家用車(送迎を含む)を利用できるから	24	14.8%
自宅・目的地周辺を運行しないと思うから	23	14.2%
運賃が高そうだから	11	6.8%
車両が小さく乗り降りが不便そうだから	5	3.1%
ほか	20	12.3%

## 5. 地域交通勉強会開催の検討概要

### 〈目的〉

新たな公共交通サービスの導入を検討するにあたり、地域との意見交換・調整の場を設置し、令和4年度の実証実験に向け、「運行計画の地元要望案」を取りまとめる。

### 〈運行計画の地元要望案(令和3年12月時点)〉

#### 〈実証実験の実施期間〉

令和4年度の下半期を想定

#### 〈運行事業者〉

区が交通事業者を公募により選定を行い、その交通事業者が運行

#### 〈運行形態〉

路線定期運行を想定(※事業の趣旨に合う場合、他の運行形態も可)

#### 〈運行車両〉

ワンボックス車両2台を想定

#### 〈運行間隔〉

20分間隔(1時間に3本)を目安とする

#### 〈運行時間帯〉

概ね午前9時~午後9時の間で設定

#### 〈運賃〉

200円を目安とする  
(ICカードは利用可とする)

#### 〈運行ルート〉

右図参照(運行距離:6.6km)

#### 〈主な停留所候補地〉

- (※以下に示す施設の周辺を想定)
- ・中杉通り沿いのバス停
  - ・鷺ノ宮八幡神社
  - ・鷺宮区民活動センター集会室分室
  - ・白鷺せせらぎ公園
  - ・早稲田通り沿いのバス停
  - ・中野大和町郵便局
  - ・大和区民活動センター
  - ・日本銀行洗心寮跡地
  - ・若宮いこいの家
  - ・若宮交番
  - ・マルエツ中野若宮店

### 〈メンバー〉

対象地域内の町会・自治会の代表者(11団体)

### 〈検討スケジュール〉

